

平成28年度 コミュニケーションデザイン支援事業 参加企業募集要項

応募締切 2016年4月8日（金）必着

- お客様との“コミュニケーション”の在り方を見直し、
- 新たなコミュニケーションデザインを、地元の大学生と一緒に考えてみませんか。





この事業のねらい

消費者個人が広く情報発信を行うことができる現在、商品・サービスの情報は売り手から買い手に伝達されるだけのものでは無くなり、企業と消費者との“コミュニケーション”が重視されるようになりました。それは中小企業においても同様で、商品・サービスの更なる普及を図るためには、企業側はマーケティング戦略の中にその潮流を取り込み、マネジメントしていく必要があります。

本事業は、これまで中小機構中部のハンズオン支援メニューを活用いただいた企業のより一層の発展のため、消費者とのコミュニケーションを見直していただき、自社のマーケティング戦略に組み入れ、常にブラッシュアップしていただくための第一歩を作ろうとするものです。

また、本事業は地元の大学とタイアップし、新たなコミュニケーションデザインを学生の皆さんと一緒に考え、実践していただきます。これにより、普段、会社の中だけでは考えられないアイデアや若い世代の消費者としての意見を取り入れる機会とするとともに、学生の実践的な学びの場を提供します。



支援の内容

1. マーケティングに長けた専門家の派遣

- ・・・マーケティング戦略立案の支援等に長けた専門家を派遣し、自社のマーケティング戦略に基づいた“消費者とのコミュニケーションの在り方”の現状分析と見直しを支援します。

2. 大学との連携の支援

- ・・・コミュニケーションの在り方を整理した後、新たなコミュニケーションデザインの検討に向けて大学生の力を借ります。コミュニケーションプランを大学生と一緒に考え、実践していくためのバックアップを行います。

※専門家の派遣にかかる費用は無料です。派遣回数は概ね5回程度、アドバイス内容は支援決定後に話し合いにより決定します。

※連携先の大学は、中小機構と大学との話し合いにより決定します。昨年度の連携先の大学とその活動内容については3ページをご覧ください。



募集対象

以下の企業を支援対象として3社募集します。

1. 平成23年～平成27年の間に、中小機構中部のハンズオン支援（専門家継続派遣事業、経営実務支援事業、戦略的CIO育成支援事業、販路開拓コーディネート事業）を活用いただいた企業で、次の2. 3. に該当する企業
2. 次のような支援ニーズが想定される企業
 - (1) お客様とのコミュニケーション戦略を検討したい、見直したい
 - (2) 若い世代のニーズを取り込んだ商品開発、販売方法を検討したい
3. 次のような製品・サービスをお持ちの企業
 - (1) 一般消費者向けの自社製品（自社で企画または企画製造する商品）やサービスを有している、または開発・販売を検討中の企業
 - (2) 製品・サービスのターゲットとして若い世代が想定される、または今後若い世代向けのマーケティングや製品開発を検討中の企業

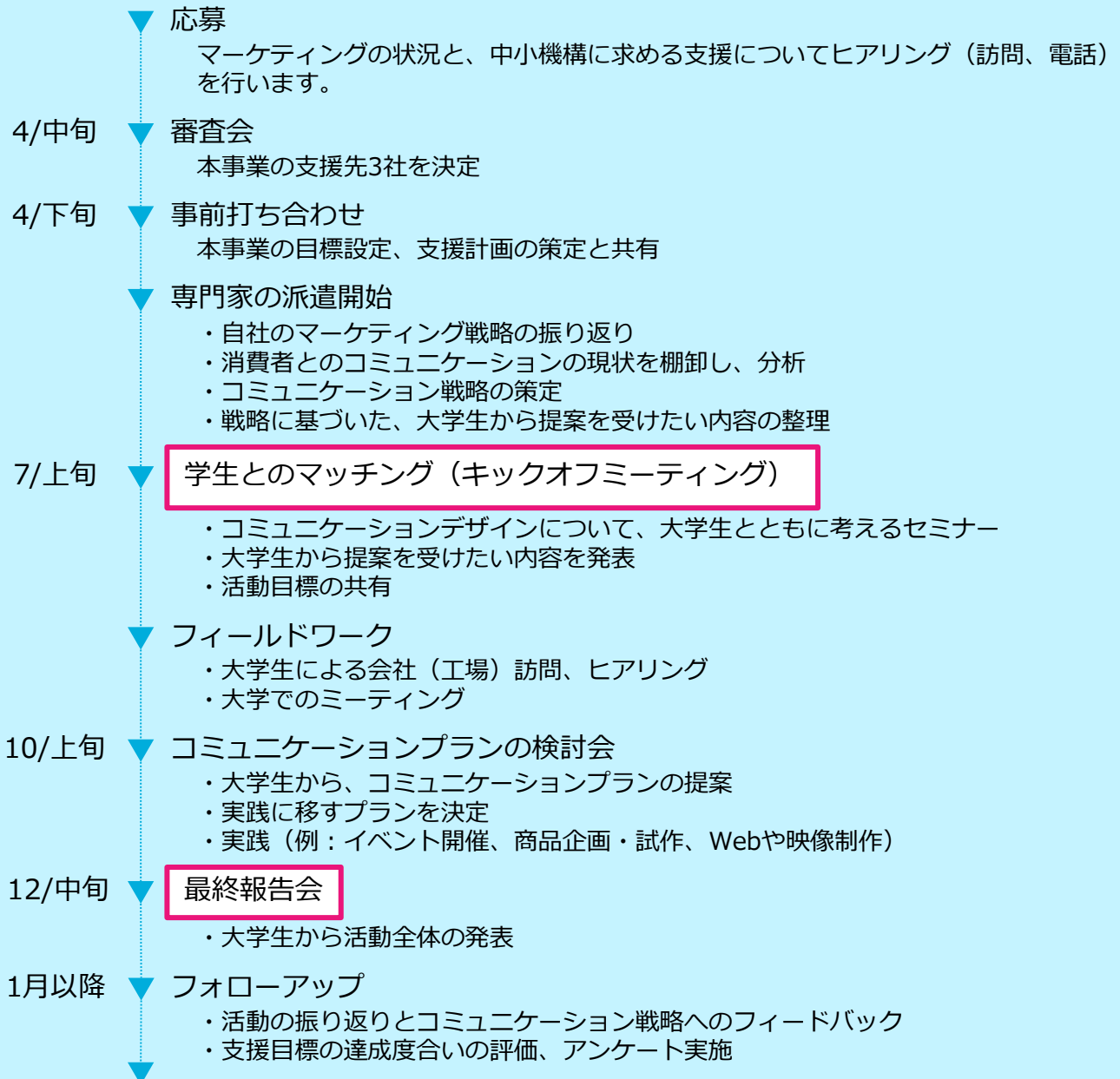
※このプロジェクトでご支援できる企業数には限りがありますので（3社）、応募多数の場合、審査を行います。

費用について

- ・ 専門家の派遣にかかる費用は無料です。
- ・ 大学生の活動経費（会社を訪問するための旅費等）は中小機構が負担しますので、企業にご負担いただくことはありません。ただし、中小機構の負担額は上限がありますので、大学生側に経費がかからないよう、事業運営にご協力をお願いする場合があります。
- ・ 大学生との打ち合わせのために大学を訪問いただいたり、大学生に製品をサンプルとして提供いただいたりした場合の旅費や製品代金等をご負担ください。
- ・ また、大学生との話し合いにより新たなコミュニケーションプランを検討し、それを実践する際に費用が発生する場合があります（新商品の試作費、PR映像などの制作費等）。

事業の概要とスケジュール

3/18（金）～4/8（金） 募集期間



応募方法

最終ページの参加申込書に必要事項をご記入の上、4月8日（金）必着で郵送、FAX、メールのいずれかでお送りください。本募集要項及び参加申込書は、中小機構中部のホームページにも掲載しています。

○郵送の場合・・・

〒460-0003 名古屋市中区錦2-2-13 名古屋センタービル4階

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 中部本部 経営支援課（担当：立石、高田）

電話：052-220-0516

○FAXの場合・・・052-220-0517

○メールの場合・・・info-chubu@smrj.go.jp

昨年度の活動内容（ご参考）

平成27年度は、名古屋文理大学、金城学院大学の2校にご協力いただき、コミュニケーションデザイン支援事業を実施しました。

名古屋文理大学×ヨーグルトメーカー（愛知）

企業から大学生への依頼

「認知度向上のため、ホームページのアクセス数を1000倍にするアイデアがほしい！」

大学生からの提案・実践内容

- ・HPへの誘引、回遊性の向上、再来訪のための施策、ターゲティングなどを、他社の分析を行って設計
- ・誘引のためのフックとして、ヨーグルトブランドのファンアカウントをツイッターで実際に運用。ファンの広がり进行分析
- ・ツイッター投稿用コンテンツとして、画像や動画を制作
- ・HP自体の改変が必要としてヨーグルトブランドのHPを実際に立上げ
- ・ヨーグルトブランドの新キャラクターを制作し、キャラクターを活用したコンテンツ提案
- ・学内の食物科でアンケート調査を行い、管理栄養士にとって有用なHPコンテンツを提案



↑ブランドの新キャラクター

動画作成、Twitterで配信→



金城学院大学×陶磁器メーカー（岐阜）

企業から大学生への依頼

「若い世代の人に、どうやったら器や食の楽しみを感じてもらえますか？」

大学生からの提案・実践内容

- ・食器売り場の調査や学内で器に関するアンケート調査、生産現場視察を実施
- ・器を自分事化するためのテーマとして「暮らしに陶器を-toki2.0」を設定し企画提案
- ・販促企画としてクリスマス販売イベントを開催。イベントの中で器以外の新たな用途提案
- ・カップをキャンドルホルダーにデザインした新商品を学内生協で販売開始
- ・特に若い女性に関心を持ってもらうため、同社の特徴的な製品の質感を表現した陶器ネイルを制作、Instagramで発表
- ・商品企画として提案した陶器のアクセサリは大きさや釉薬ののり具合を現在試作開発中



左：陶器ネイル



右：試作中の陶器アクセサリ

クリスマスイベントは新聞にも取り上げられました→





平成28年度コミュニケーションデザイン支援事業 参加申込書

募集要項を確認の上、平成28年度コミュニケーションデザイン支援事業に以下のとおり申し込みます。

企業概要			
企業名		代表者氏名	
所在地	〒		
電話番号		FAX	
担当者氏名		担当者メールアドレス	
マーケティングの現状と課題			
主な取扱製品・サービス	ブランド名・商品名、サービス名と概要をご記入ください。		
製品・サービスのコンセプト	何のための製品・サービスですか？簡潔にご記入ください。		
製品・サービスのターゲット	誰に（どのような人に）販売したいですか？簡潔にご記入ください。		
現状の販売方法	例：自社店頭販売、百貨店で委託販売、楽天で販売等		
販売促進の手法	これまで行った販促企画、コミュニケーション手法をご記入ください。 例：チラシのポスティング、会員制度、ポイントサービス、リスティング広告、公式Twitter等		
コミュニケーション上の課題	現状で、どのようなことを課題として認識されていますか？		
支援の必要性	上記の課題を解決するために、どのような支援が必要だとお考えですか？		
自由記入欄	学生との活動について思うことやこの事業への期待することなどがあればご記入ください。		

※いただいた個人情報は、本事業の運営・管理にのみ利用します。個人情報保護方針は、中小機構のホームページをご覧ください。

<お問い合わせ・お申込み先>

○郵送の場合・・・

〒460-0003 名古屋市中区錦2-2-13 名古屋センタービル4階

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 中部本部 経営支援課（担当：立石、高田）

電話：052-220-0516

○FAXの場合・・・052-220-0517

○メールの場合・・・info-chubu@smrj.go.jp